

CASE
02

上水内郡

アート×食×地域
資源→「生きる力」
を創造する。

一般社団法人 地球と遊ぶ 成就工房

事業内容 交流・創作・教育事業

企業 data 代表者：木村 めぐみ 所在地：上水内郡小川村瀬戸川973-1
従業員数：0名 連絡先：info@be-earth.jp

Introduction

令和4年1月に創業し、事業の3本柱は

- ・交流：地域課題・活用を理解する為のコミュニティ・カフェ・ワークショップ
- ・創作：アートキッチン、オープン工房
- ・教育：自然教育・食育、研修教材開発、デジタル知恵袋

企業の現状 及び 支援の経緯

日本で最も美しい村「小川村」の豊かな自然環境を気に入り、東京から家族で移住して来た。代表者は、食と発酵への興味・研究を活かして、食・モノづくりを行う子供も大人も集える「場」としてアトリエを作りたいとの強い想いを持ち、「地球と遊ぶ 成就工房」の設立、創業を決意した。代表者は「食」、事業パートナー（現代美術家・総合アートディレクター）が「芸術」を担当。この工房では、食とアートを軸に、子供から年配者までが、山里ならではの創造的な「生きる力」を学び、実践、共有できる場として活用することを目指している。代表者は創業にあたり、様々な情報を調査・収集する過程で、ソーシャル・ビジネス創業支援金を知り、活用したいと考えて当センターに相談した。

実施した支援内容

ソーシャル・ビジネス創業支援金の伴走支援員は、まずは現地を訪問して代表者・事業パートナー2名に対し、創業支援金の募集内容、応募書類、記載上の注意事項・重要な記載ポイントなどの詳細説明を実施した。併せて、創業内容・創業への想い・ビジョン・事業計画などをヒアリングし、面談を通して自社の強み、地域課題とその対処方法、地域における必要性などを吸い上げた。

更に、その後も創業支援金の申請に



あたり、内容の抽出と整理、事業売上計画の整合性などについて、代表者の気付き、内容の整理と纏めなどに対する継続的で日程的に集中した支援を実施した。

フォームを醸成する計画である。

小川村と連動した具体的な取り組みを進め、地域資源を活用して豊かに暮らす実践提供が期待できる。

支援の結果 及び 今後の展開など

ソーシャル・ビジネス創業支援金が採択され、令和4年1月に一般社団法人を創業した。

今、必要とされるのは「生きる力」であり、アートが解決の鍵になるとの信念を強め、地域の魅力をアート視点から発掘、創作する新しい取り組みを進める。活動全体にITシステムを取り入れ、国内外に共有できるプラット



【事業所から見える北アルプス連峰】

支援をうけて

代表理事 木村 めぐみ 氏

小川村は生きる力を学ぶ素材の宝庫です。標高差500mの地理が生む動植物多様性、豊かな四季、壮大なアルプス等。「人間が自然の一部として、豊かさとは何かを考え、次世代へ持続可能な環境を作り出す」為に必要な生きる力を小川村で共に学び、創り、共有する場を作る第一歩を踏み出すことができました。邁進していきます。



【工事前の事業所】